

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	イオンリテールストア株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
工場等の名称	イオンメイトピア店
工場等の所在地	名古屋市名東区高間町501-1
業種	卸売業、小売業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	大規模小売店舗
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月22日 ～ 令和5年10月20日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） イオンメイトピア店 人事総務課長
		ホーム ページ	（EPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先			

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、エネルギー使用の合理化に関する法律による活動と合わせ事業展開を実施します。

①継続的な環境改善

P D C A サイクルに基づく環境改善の継続的な改善

②省資源・省エネルギー活動の推進

事業所で使用する電気・ガス等のエネルギー使用量を令和7年度までに令和3年度比2%削減目標とします。

③廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進

④従業員への環境教育と社外への環境コミュニケーションの推進

⑤省エネ施策 店内基本照明LED化

(2) 地球温暖化対策の推進体制

責任者	店長
環境統括責任者	人事総務課長
環境管理責任者	人事総務課長
委員	各ライン営業課長
委員	各ライン営業マネージャー
委員	イオンディライト
委員	社員
委員	同友店 店長

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,706	t-CO ₂
（温室効果ガス除く炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1,706	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績	目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度	令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	1,774 t-CO ₂	1,738 t-CO ₂		1,706 t-CO ₂			
削減率（対基準年度）		2.0 %		3.8 %	%	%	%
温室効果ガスみなし総排出量				t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）				%	%	%	%

項 目	基準年度の実績	目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度	令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量							
削減率（対基準年度）		%		%	%	%	%
原単位あたりのみなし排出量							
削減率（対基準年度）				%	%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

基準年度排出量を3年間で2%削減目標が、初年度において3.8%の削減ができた。 ①月1回の温暖化対策会議を開催し、各施策の取り組み進捗を確認した。 ②次年度においても温室効果ガスの削減に向けて施策の密な取り組みをする。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選定する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源 冷暖房	①冷房温度を28℃ 暖房温度20℃を徹底する	①毎日の運転記録を確認し管理徹底を図る	①毎日の運転記録を確認し管理徹底を図る
省エネルギー・省資源 照明	①使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯徹底 ②照明点灯時間の見直し	①使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯の徹底 ②照明点灯時間の見直し	①使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯の徹底 ②照明点灯時間の見直し
省エネルギー・省資源 OA機器	①パソコン・コピー機の離席時・退社時スイッチOFF	①パソコン・コピー機の離席時・退社時のスイッチOFF	①パソコン・コピー機の離席時・退社時のスイッチOFF
廃棄物の排出抑制	①両面コピー再利用の徹底 ②オフィス古紙を分別リサイクルする ③ペーパーレスの推進	①両面コピー・再利用の徹底 ②オフィス古紙を分別リサイクル ③ペーパーレスの推進	①両面コピー・再利用の徹底 ②オフィス古紙を分別リサイクル ③ペーパーレスの推進
エネルギーマネジメントシステムの導入	導入済みの電力管理システムを運用し週間管理・月間管理をする	運用管理の徹底・データー分析により効率運転をする	運用管理の徹底・データー分析により効率運転をする
省エネ装置導入	導入済みの空調機インバーターの効率運転の再見直し	店内環境を維持し、最適な効率運転を図る	省エネ機器の効率運転の実施
省エネ装置導入	過去に導入の省エネ装置の運用管理 ①空調機インバーター	省エネ機器の効率運転の実施	省エネ機器の効率運転の実施
省エネ装置導入	改装時LED器具の積極的な取替え	今年度導入検討	今年度導入検討
省エネ冷凍機代替え 食品ケース温度管理 空調機運転管理	インバーター冷凍機に随時交換 温度設定の見直し(季節管理徹底) 店内CO2測定	経年冷凍機の計画的代替え 冷凍食品-25℃～-20℃に変更 店内二酸化炭素濃度管理の徹底により空調運転見直し	経年冷凍機の計画的代替え 冷凍食品-25℃～-20℃に変更 店内二酸化炭素濃度管理の徹底により空調運転見直し

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--